

子育て支援・教育ミーティングにおける主な意見

意見概要

【1 家庭・地域における子育て支援】

- ・地域の子育て支援センターなど、小さいお子さんが屋内で遊べる施設が整備されてきていると思うが、地域によっては、まだ足りないとの声があり、その充実が必要だと思う。
- ・既存の施設のイベント情報などは、行政の窓口にパンフレットを置くだけでなく、小さなお子さん連れのお母さん方が集まる所でもっとPRして利用してもらおう工夫をしてはどうか。

【2 仕事と子育ての両立支援】

- ・育児支援の一環として長期の育児休業を取得する企業が増えてきているが、昨今の不況下ではなかなか長期休業を取りにくい状況である。県から企業へどのような働きかけをされているのか。

【3 子どもの健やかな成長の支援】

- ・知的障害に限らず、さまざまな障害者について、一生を通して充実した生活を目指すことができるように、必要とする量の療育やリハビリを早期から受けられるよう、法律または条例、施設の設備・各地域への分散、支援して下さるスタッフの人数など、さらなる充実をお願いできないか。

また、児童期であっても、同行支援、行動援護にあたる支援策を充実していただき、どの市町村でも平等に実施していただけないか。

- ・昨今の子どもたちには、心の問題のほかに、家庭環境や家族関係に起因する問題も多く見られることから、スクールソーシャルワーカーの役割は大きい。南砺市においても、家庭環境で悩む事案が増加しており、来年度、県においてスクールソーシャルワーカーの派遣をお願いしたい。
- ・福野小学校では、1、2年生が35人学級を実施し、各4クラスだが、3年生に進級すれば3クラスになる。受け持ちの先生が少しでも多く子どもたちと向き合う時間を確保できるよう、また、先生方の負担をなくすためにもぜひとも小学校全学年35人学級を実施していただきたい。